

レギュレーション

SUPER BATTLE of MINI はレース形式のスポーツ走行会です。クラシック・ミニをこよなく愛し、モータースポーツの楽しみ方を少しでも感じて頂ければ幸いです。

SUPER BATTLE of MINI は、参加者の皆様が、普段クラブマンレースに参加されているクラシック・ミニや、普段お乗りになっているクラシック・ミニを使い、ドライビング技術を向上させながら、サーキット走行をより安全に、気軽に楽しんで頂く事を目的として開催しています。

決して、勝利や入賞する事だけが目的の競技レースではありません。また、競技レースへのステップアップを目的としたレースでもありません。参加車両のパフォーマンスの向上も大切ですが、スポーツマンシップとマナーを重視し、モータースポーツライフを気軽に楽しんで頂くためのイベントです。

ご自身の勝利よりも、無理なドライビングによる接触事故等を避け、他の参加者が迷惑と思わないマナーと規則を守った走行を行った結果から生まれる、フェアな駆け引きやサーキットの雰囲気を楽しむ、真に高尚な趣味として参加して頂いております。サーキットを使用した、若干危険を伴うスポーツです。いかなる場合も参加者の自己責任となります。

競技レースではありませんが、レース形式の開催方式を採用している事と、上記趣旨を具現化するため以下の項目を規定します。

■ 参加者資格

1. 有効な普通自動車免許保持者で、クラシック・ミニと英国車オーナー及びその車両で参加する者とする。(免停など失効免許証は不可。仮ナンバーでの自走来場は不可。)
2. サーキットライセンス、JAF モータースポーツライセンスは不要です。
3. 各レースクラスのレギュレーションを違反した者は、シーズンポイント剥奪となる。
4. サーキットの基本走行規則を熟知している事。
5. 無理なドライビングによる接触事故等を避け、他の参加者が迷惑と思わないマナーと規則を守った走行ができる事。
6. 規定が厳守できないエントラント及びドライバーは参加をご遠慮下さい。

■ 基本参加車両規定

1. 一般公道を走行する車両からパイプフレーム等のモトスポーツクラス車両まで、クラシック・ミニと確認可能な車両である事。但し、パワーユニットは A タイプエンジンを搭載の事。
2. 参加ドライバーが四輪プロドライバーの場合はご遠慮頂く事がございます。参加した場合は表彰対象外とする。
3. Moto-Sports Class クラスはタイヤ自由。その他のクラスは競技用ラジアルまでとする。(レインタイヤに関してはこれに限らない)
4. 車両がコースアウトなどした際の回収時に必ず必要になる為、車両に強度を持つ牽引フックを前後に装着する事。(純正フック使用可)
5. 車内 4 点支持以上のロールケージ搭載が望ましい。(レギュレーション表参照)
6. ROOKIES × U28 Heisei BATTLE と各レースクラスは、4 点式以上のシートベルトを着用する事。(レギュレーション表参照)
7. 消火器を搭載する事が望ましい。(内容量 1.5kg 以上)(レギュレーション表参照)
8. ガラスのライト類には飛散防止のテーピングを透明なビニールテープで行う事が望ましい。
9. 参加者は事前に主催者及び事務局の用意または許可を受けたカーナンバーを、右ドア、ボンネットに雨風等で剥がれないよう貼りつける。(カーナンバーはサークルとの色の見分けが出来れば指定品でなく真円または正方形で、ご自身でご用意頂いて結構です。)
10. 自動計測装置(ポンダー)は、ビニールテープまたはガムテープでセンサーが剥がれないように確実に車内右後ろガラス部分に固定する。走行終了後は主催者受付に必ず返却する事。
11. ホイールバルンサー、ブレーキフルードキャップ、冷却水補助タンクキャップ、バッテリープラス端子はテープを貼り、クラッシュなどで流出、脱落しないようにする。

■ Moto Sport Class (モト・クラス)参加車両規定

1. 筑波サーキット公式時計 **1 分 9 秒以内**で平均的に周回出来る事。
2. ボディ形状はクラシック・ミニに極めて類似していること。フォーミュラ、ロータス 23B など、クラシック・ミニのボディ形状として認識されない車体は不可。
3. パワーユニットは A タイプエンジンを搭載の事。排気量は無制限。キャブ、インジェクション、7 ポート、8 ポート、ツインカムヘッド可。
4. エンジンの搭載位置は前軸より前方とし、前軸駆動とすること。
5. クラシック・ミニ A タイプ純正ブロック、純正ミッションケースを使用すること。
6. ギアの変更可。シーケンシャル使用可。4 速、5 速、6 速可。

7. パイプフレーム使用可。内装自由。
8. サスペンション、ホイール、タイヤは自由。
9. 車内 6 点支持以上のロールケージ搭載の事。ドライバー側サイドバーを強く推奨します。
10. 5 点支持以上のシートハーネスを使用する事。ハンスを着用すること。
11. フロントサブフレームは純正同等形状を使用し、足回り取り付け位置及び各上下アーム類の大幅なサイズ変更は不可。

■ SILHOUETTE CLASS (シルエットクラス)参加車両規定

1. 筑波サーキット公式時計 1 分 9 秒台で平均的に周回出来る事。また、シリーズ終了後、主催者と参加者とで話し合いの上、クラス変更する場合がある。
2. フロントガラスパネル、ドアフレーム、左右クォーターパネル、リアパネル及び A、B、C ピラーは純正品または純正相当品を使用すること。但し、ミニスプリント、ミニマーコスなどのボディは可。
3. パワーユニットは A タイプエンジンを搭載の事。排気量は無制限。キャブ、インジェクション、7 ポート、8 ポート、ツインカムヘッド可。
4. エンジンの搭載位置は前軸より前方とし、前軸駆動とすること。
5. ギアの変更可。シーケンシャル使用可。4 速、5 速、6 速可。
6. 一部パイプフレーム使用可。内装自由。
7. サスペンション、ホイールは自由。タイヤは S タイヤまでとする。(レインタイヤに関してはこれに限らない。)サイズは自由。
8. 車内 6 点支持以上のロールケージ搭載の事。ドライバー側サイドバー装着を強く推奨します。5 点支持以上シートハーネスを使用する事。ハンスを着用すること。
9. フロア、クォーターパネルは純正を使用。開口部は FRP 使用可。
10. フルフロント可。スクリーンは自由。リアサブフレームは自由。

■ SUPER BATTLE of MINI (スーパーバトルオブミニ クラス)参加車両規定

1. 予選とする約 20 分間のスポーツ走行のタイム順で、参加台数の約半数を SUPER SPRINT CCLASS と SRPINT CLASS に分ける。
2. すでに従来の記録と参加者の希望を含め SUPER SPRINT CLASS と SUPRINT CLASS にシーズンを通して振り分ける。

3. 一般公道を走行する車両からレース専用車両まででクラシック・ミニ と確認可能な車両である事。但し、パワーユニットは A タイプエンジンを搭載の事。パイプフレームは不可。スチールモノコックのみ 開口部の材質変更は認められる
4. インジェクション可
4. タイヤは S タイヤまでとする。サイズは自由。
5. ボディパネルの変更は全体の 30 %までとする。フロントサブフレームは純正を使用する事。
6. 車内 4 点支持以上のロールケージ搭載が望ましい。Super Sprint Class に該当する場合は 5 点支持以上シートハーネス使用、ハンス着用を強く推奨する。

■ INJECTION CLASS (インジェクション クラス)参加車両規定

1. すでに従来の記録と参加者の希望を含め SPRINT CLASS と LEGAL CLASS にシーズンを通して振り分ける。
2. タイム基準は、1 分 14 秒台までを SPRINT Class、1 分 15 秒以上を LEGAL Class としてクラス分けを行う。
3. 一般公道を走行する車両からレース専用車両までのクラシック・ミニと確認可能な車両である事。但し、パワーユニットは A タイプエンジンを搭載の事。
4. 純正 ECU を使用の事。サブコントローラーの使用不可。燃料圧カレギュレータースプリングの変更、純正マップ書き換えは可。
5. 純正 ECU の蓋を開けてはならない。純正 ECU の中身には一切触れてはいけない。
6. タイヤは S タイヤまでとする。
7. 車内 4 点支持以上のロールケージ搭載が望ましい。

■ CLASSIC NARROW CUP (クラシックナローカップ)参加車両規定

1. 一般公道を走行する車両から開口部を除く全てがスチールボディーのクラシック・ミニ。パワーユニットは A タイプエンジンを搭載の事。
2. キャブレターは SU キャブレター、ウェーバーキャブレターなど 1960 年代から 1970 年代の形式の物のみ使用可。欧州製は尚可。インジェクション可。
3. オーバーフェンダー取り付け不可。
4. タイヤは S タイヤ、バイアスタイヤまでとする。
5. 車内 4 点支持以上のロールケージ搭載が望ましい。

6. 1960年代を強くイメージする車両作りを推奨します。

■ BATTLE of MINI1000 (バトルオブミニ 1000)参加車両規定

1. 一般公道を走行する車両からレース専用車両でクラシック・ミニと確認可能な車両である事。但し、パワーユニットは A タイプエンジンを搭載の事。
2. キャブレターは SU キャブレター、ウェーバーキャブレターなど 1960 年代から 1970 年代の形式の物のみ使用可。欧州製は尚可。インジェクション可。
3. 1000cc ブロックを使用する事。1300cc シリンダーヘッド使用可。ボア無制限。
4. タイヤは S タイヤまでとする。
5. ターボ使用不可。
6. 車内 4 点支持以上のロールケージ搭載が望ましい。

■ CLASSIC MINI 45 分耐久レース参加車両規定

1. 予選は 15 分とし、ドライバー交代は可。義務周回数は無しとする。
2. クラスは 1,000cc チューニングクラス、1300cc まで、1,300cc 以上のオープンクラスの 3 クラスで分ける。
3. 登録出走ドライバーは 2 名以上、3 名までとする。
4. ドライバー 1 名以上、3 名まで。の義務走行時間は無しとする。
5. ドライバー交代のためのピットストップは、1,000cc チューニングクラスは無し、1,300cc までのクラスは 45 秒、1,300cc 以上のオープンクラスは 1 分間とする。
6. ピットロードスピード 40km を厳守。速度違反はペナルティーの対象とする。
7. 給油作業は一切禁止とする。タイヤ交換は自由。但し、必ずエンジン停止の状態で行うこと。
8. 表彰は各クラス 1 位から 3 位までとする。
9. フロア、クォーターパネルは純正を使用。開口部は FRP 使用可。
10. フルフロント可。スクリーンは自由。リアサブフレームは自由。
11. スタートはローリングスタートを採用。

■ EUROPEAN CLASSIC CHALLENGE (ヨーロッパクラシックチャレンジ)参加車両規定

1. MG、Triumph、Healey、Jaguar などの他、クラシックアルファ・ロメオ、ルノー、シトロエン、プジョーなど 1980 年代までのヨーロッパ車。

2. 予選とする約 20 分間のスポーツ走行のタイム順で、参加台数の約半数を Sprint Class と Clubman Class に分ける。
3. 英国製、その他ヨーロッパ製パワーユニットに限る。
4. 国産パワーユニットは不可。
5. タイヤは S タイヤまでとする。ハンスの着用を強く推奨します。
6. オープンボディの車両の場合はロールケージを搭載する事。

■ ROOKIES & U28 Heisei BATTLE 参加車両規定

1. これまでレース経験の無い方、スポーツ走行会に参加されている方、平成生まれの次世代ドライバーとも言えるレース未経験の若手ドライバーを対象としたクラスとする。
2. 決勝レースは 6 周回とする。
3. タイヤは S タイヤまでとする。
4. ハンスの着用を義務付け。(ハンス対応ヘルメット、バケットシート、6 点式シートハーネス(ハンス対応シートハーネスが望ましい))
5. 一般公道を走行する車両からレース専用車両でクラシック・ミニと確認可能な車両である事。但し、パワーユニットは A タイプエンジンを搭載の事。
6. 1000cc ブロックを使用する事。1300cc シリンダーヘッド使用可。ボア無制限。
7. インジェクション車、ターボ使用可。

■ FORMULA CLASSICS(フォーミュラークラシックス)参加車両規定

1. クラス 1 : 排気量 1000cc までの F-3、1100cc までのフォーミュラージュニア。
2. クラス 2 : 1971 年モデルまでのフォーミュラーフォード。フォーミュラーフォード車両規定を超える改造を受けた車両はクラス 3 へ移行する。
3. クラス 3 : 1970 年モデルまでの F-2、F-b、F-L とする。
4. 全クラス、タイヤはヒストリックオールウェザータイヤに限る。ハンスの着用を強く推奨します。
5. 全クラス、オリジナルに関わらず取り付け不可。(ウイング、スポイラー等)
6. エンジンシリンダーあたりのバルブ数は 2 までとする。

■ 車両検査

1. 各レースクラスの参加者は、タイムスケジュール上に定められた車検をサーキット車検場で必ず受けて下さい。サーキット走行をする上で、安全対策をメンテナンスショップと連携しながら行って下さい。

■ ドライバー

1. 参加申し込みが受理されたエントリードライバー以外の走行を認めない。
2. ブリーフィングに出席しないドライバーは出走を認めない。(ブリーフィングは時間厳守です。タイムスケジュールの遅れによる出走可能時間の短縮等に繋がりますのでご注意ください。)
3. イベントに相応しくないとと思われるエントラントおよびドライバーは退場処分とする場合がある。

■ 服装規定

1. ヘルメットは、JAF 公認、FIA 公認または SNELL SA 規格のフルフェイスの着用が望ましい。
2. グローブは指先まであり耐火性のある JAF または FIA 公認、4 輪用レーシンググローブの着用が望ましい。新規購入の場合は FIA 公認 STANDARD 8856-2000 規格適合以降を推奨。
3. スーツは耐火性のある JAF または FIA 公認、4 輪用レーシングスーツの着用義務付け。新規購入の場合は FIA 公認 STANDARD 8856-2000 規格適合以降を推奨。
4. 耐火性のある JAF または FIA 公認、4 輪レーシングシューズの着用が望ましい。新規購入の場合は FIA 公認 STANDARD 8856-2000 規格適合以降を推奨。
5. アンダーウエアは綿など難燃性素材の着用が望ましい。可燃性化繊は避ける方が望ましい。耐火性のある JAF または FIA 公認、4 輪アンダーウエアの着用を推奨する。新規購入の場合は FIA 公認 STANDARD 8856-2000 規格適合以降を推奨。

補足 2007 年に ISO 6940,1986 STANDARD 規格は FIA (JAF 公認) の有効期限が終了しました。ISO 6940,1986 STANDARD 規格の物は、5 年以上前の規格の製品です。早期更新の検討をお願いします。

■ 走行規定

1. 走行妨害を禁止する。(通称:クロスブロック、ブロックライン走行、イン閉め等の意図的追い越し阻止行為を禁止する)
2. 接触、衝突及びそれに至る恐れのある走行、無理な追い越し、威嚇行為を禁止する。

1.	前方の車両の空気抵抗を利用した極端に車間距離を詰めたスリップストリームは禁止する。また、スリップストリームからコーナー入口での無理なイン側への侵入もご注意下さい。常に前方4割、後方6割程度の意識を持ち、抜かれる側も抜く側も最善の注意を払い、十分な車両間隔を取る様にして下さい。
2.	急激な進路変更や後方から左右にフェイントをかける等による他車への威嚇及びそれに準ずる行為を禁止する。
3.	前車がターンインする瞬間までに、前車のAピラー以上前へ車体前端部が到達しないような無理なブレーキングからイン側へ進入しての追い越し行為を禁止する。

(以上は、走行マナーとペナルティを参照の事)

3. 接触があった場合は、当事者同士、走行後確認し、声を掛け合しましょう。
4. 特別な指示や規定がない限り、JAF 一般レース規定を踏襲する。
5. 各レースクラスにおいて、クラス分けとなる場合は、予選とするスポーツ走行のタイムで2クラスに分け、決勝のスタート順位を決定する。
6. 各サーキットのピットレーン制限速度を厳守する。
7. 明らかに重大事故の発生が予測出来る危険な行為を行ってはならない。
8. 走行中何らかのトラブルでコースアウト又はコース上に停止した際は、エンジンを切り(メインスイッチをオフにする)ヘルメット、グローブを装着したままスポンジバリア、ガードレール等の外に速やかに退避する事。

補足 1,2,6,7 項目を違反するとペナルティの対象となります。走行中でも黒旗の対象になりピット停止や順位降格等のペナルティを科せられる場合があります。

■ タイムスケジュール等

1. タイムスケジュールはイベント主催者規定による。
2. タイムスケジュールはイベント当日に変更する事がある。

■ 厳守事項

1. 安全に走行できるよう、主催者スタッフだけでなく、参加者全員参加型の運営が望ましい。
2. コース、ピットは禁煙。喫煙は指定の場所で行う事。
3. 他の参加者や見学者の迷惑になるような行為をしない。
4. 近隣の迷惑にならない様、行き帰りも含め、騒音/走行マナー等には十分注意する。

■ 表彰及び賞典

1. 原則としてレースクラス各クラスの 1 位から 6 位まで表彰する。SEVEN SUPER LAP BATTLE、GINETTA Challenge、FORMULA CLASSICS は各クラス 1 位から 3 位まで表彰する。
2. SUPER BATTLE of MINI オリジナルトロフィーまたは、その他トロフィーの贈呈。
3. 上記以外の賞典の詳細、順位表彰範囲は後日発表する。
4. 当日の結果に変更点(再審議等)がある場合は、後日「正式結果」としてホームページなどで告知する場合がある。
5. シリーズポイントは全 4 戦のポイントを合算し、年間シリーズポイントとする。
6. シーズン終了後に年間表彰式を行います。特にレースクラス受賞者の方々は必ず参加するようお願い致します。

■ ポイント

1. ポイントは 1 位から 6 位までの入賞者に決勝出走ポイントと共に与えられる。
2. 7 位以下のドライバーには、決勝出走ポイントと完走ポイントが与えられる。
3. 各クラス決勝ファステストラップポイントが 1 ポイント与えられる。
4. FORMULA CLASSICS クラス、MOTO、SILHOUETTE、INJECTION SPRINT Class を除く各レースクラスにおいて、自走でサーキットまで来場したドライバーには毎戦 2 ポイントが与えられる。
5. FORMULA CLASSICS クラス、MOTO、SILHOUETTE、を除く各レースクラスにおいて、エアコン搭載車両には毎戦 1 ポイントが与えられる。
6. 各レースクラスにおいて、全戦参加したドライバーには、皆勤ポイントとしてシリーズ終了時に 5 ポイントが与えられる。

■ ペナルティ

サーキットを走る上でのマナーを心掛け、実行して頂ければ下記のような規定とは無縁です。この規定は主役である皆さんに「サーキットを安全で楽しく走る」を続けて頂く為、つい熱くなりがちなサーキット走行で、マナーとは何か、安全とは何かを忘れないで頂く事が目的です。また、モータースポーツはスポーツです。スポーツマンシップに則った行動を常に心掛け

ましょう。ペナルティを科す事が本来の目的ではありません。ペナルティの確認、判定は全てサーキット監視センターのモニターと連携して行われます。

1. 発生理由や罰則が科されるかどうかを問わず、管制員、競技長から他社との接触の判定を受けた場合には、得点は与えられない。また、この判定に関する抗議は受け付けられない。
2. フラッグ違反ペナルティ

フラッグの見落としは重大な事故に繋がるため、予選及び決勝でフラッグ違反があった場合は以下の規定を適用します。(大会主催者側からの指示がある場合は、そちらを採用)フラッグについては**フラッグの種類とフラッグの意味**ページを参照下さい。

また、その他メインポストなどから提示されるドライブスルーペナルティやライトオン表示などもあるので注意する事。

予選	該当ドライバーは予選最後尾スタートとする。
決勝	該当ドライバーの順位降格または失格とする。

■ イエローカード制の導入と接触ペナルティ

1. ペナルティ対象ドライバーにはイエローカードを正式結果に提示する。
2. イエローカードは累積してカウントし、3枚目を提示されたドライバーは、エントリーの有無に関わらず次のレースは出場停止とする。
3. イエローカードは年間でカウントされ、翌シーズンには持ち越されない。
4. 走行中、反スポーツ的行為(無理な走行)やコースを大きく汚し、レースを中断または走行を中断させるなど、他の参加者に迷惑をかけた場合イエローカードの対象となる。
5. 走行中失格となったドライバーはイエローカードの対象となる。
6. その他、管制室から監視の結果、厳重注意などがある場合がある。
7. 発生理由や罰則が科されるかどうかを問わず、管制員、競技長から他車との接触の判定を受けた場合には、得点は与えられない。また、この判定に関する抗議は受け付けられない。

■ その他

1. 決勝レースとする走行クラスへの参加台数が走行に無理のある数と主催者が判断した場合、予選不通過車両を対象にコンソレーションレースを行う場合がある。スケジュール、走行クラス等に関しては、当ホームページなどの通知を以って参加者に公示する。コンソレーションレースは、他クラスとの混走の場合がある。コンソレーションレースのスターティンググリッド

の決定方法は、混走の場合でも、各クラス共通の予選組み分け後のタイム順による決勝グリッドの決定方法に準ずる。

2. 特別な指示が無くても、一般的H項を厳守。不明な点は、大会主催者又はメンテナンスショップに確認する事。
3. SUPER BATTLE of MINI 主催者は、シリーズ途中でも安全確保のためレギュレーションを変更することができる。
4. SUPER BATTLE of MINI 主催者は、イベントの各規定項目,項目外および行為に対して最終判断の権限を有し、特別及び恒久的な変更,救済措置を行うことができる。エントラントはその裁定に従う事とする。
5. ピット割は特にありませんので、参加者皆様で譲り合ってご使用下さい。困った時、困った人を見かけた時などは、すぐに声を掛け合いましょう。
6. 積載車両でお越しの際は、作業が終了したら迅速に指定の駐車場へ移動しましょう。パドックは常に清潔に、広く使用出来ます様皆様で協力しましょう。待機場所に駐車する際は、前後の車両間隔を開け、前後の車両の出し入れに配慮すると共に、前後車両とドライバーを把握して自身のコースイン順を遵守し、タイムスケジュールが遅れない様注意しましょう。
7. サーキット走行を行う際に最も重要となるフラッグの種類は必ず把握し、フラッグ表などを作成し、ご自身のカーナンバーと共に車両インストルメントパネルに貼付するなど、走行中でも確認出来る等工夫して下さい。